

令和6年8月5日 第2142回例会

2024～2025年度 国際ロータリー会長 ステファニーA・アーチック

●会長 下村 哲也 ●副会長 宮脇 謙舟 ●幹事 濱上 友美 ●編集 広報・雑誌・IT委員会 (公共イメージ)

四つのテスト 言行はこれに照らしてから ① 真実かどうか ② みんなに公平か ③ 好意と友情を深めるか ④ みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 会員卓話「新入会員自己紹介」・
「公共イメージ向上のための卓話」

8月 会員増強・
新クラブ結成推進月間

前回例会出席率
67.30%

会長の時間

会長 下村 哲也

みなさんこんにちは。

先週末の納涼家族会につきましては、ご家族を含め多数の皆様にご参加いただきまして誠にありがとうございました。また、親睦委員会、特に司会をいただいた國料さんにつきましては厚く御礼を申し上げたいと思っております。

さて、本日は、鹿児島レブナイズの有川久志様に卓話を頂戴することとなっております。

鹿児島レブナイズはバスケットボールのプロチームです。

私は中学時代野球部で、背も低かったこともあり、バスケットボールにはあまり縁はありませんでしたが、バスケットボール部の方々は大変人気があったという印象があります。

本日は卓話の前説的なお話として、簡単にバスケットボールの歴史を少し紹介したいと思います。

関西学院大学のバスケットボール部の歴史の紹介によれば、1891年(明治24年)、アメリカのオハイオ州という五大湖の近くの州のスプリングフィールドというところで、YMCAの方々が、冬は雪が多くてスポーツができない、屋内のできるスポーツはないかと考え、バスケットボールが生まれました。

その当時のルールは、①ボールを使う、②ボールを持っている人が自由に動いてはいけない、③頭の上の手の届かないところにゴールを設置する。④相手を叩いたり押したり捕まえたりしてはいけない、というようなルールだったそうです。



初めての試合が行われたのは1891年12月21日だそうです。

ボールはサッカーのボールを使い、ゴールは当時桃の収穫用の木製の桶・かごだったようです。

そして、この籠を使うゲームということで、「バスケット」ボールという名前がついたそうです。

初期のゴールは、後ろに大きな板はなかったようですが、白熱すると2階席にいる人たちがシュートを妨害したというようなことがあって、それを防ぐために大きな板をゴールの後ろにつけるようになりました。

そのような形で始めたところ人気が出まして、それがだんだん広がっていったそうです。

このように、バスケットボールは大流行したんですけど、どうしても体の接触が多くて怪我もしやすいそして運動が激しく中高年や女性にはちょっと運動量が多すぎるということでできたのがバレーボールなんだそうです。ちなみにバレーボールができたのは1895年だそうです。

日本にバスケットボールが伝わりましたのは1908年(明治41年)、大森氷蔵さんという岡山生まれの方がスタンフォード大学に留学をいたしまして、それが帰国して伝えたということになっております。

以後、日本におけるバスケットボールは長らく基本的に実業団が中心でございましたが、2005年(平成17年)、日本初のプロバスケットボールリーグとして日本プロバスケットボールリーグ(BJリーグ)ができ、今に発展しております。

その後のレブナイズの活躍につきましては、後ほど有川様から詳しくお話をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

ゲスト卓話

「プロスポーツで鹿児島を盛り上げる」

株式会社鹿児島レブナイズ
代表取締役社長 有川 久志



学生時代から全国のスタジアム巡りをするのが趣味で、国内外の3,000を超える施設を見てきました。スポーツに関わる仕事

がしたいと電通に入社。営業で本田技研を長く担当したほか、スポーツ事業局にも兼務で在籍し、日韓のワールドカップサッカーや、アトランタオリンピックの聖火リレープロジェクト、ニューヨークヤンキースに移籍した松井選手のプロジェクトなどを手がけてきました。

40歳になったとき、大好きな鹿児島をスポーツで盛り上げようと活動を始めました。周囲からは猛反対されましたが、半分は意地になって2年かけてFC鹿児島というサッカーチームを2013年に立ち上げました。鹿児島ユナイテッドになってからも7年ほど非常勤の役員をしていましたが、縁があって、鹿児島レブナイズのオーナー

でWizの山崎俊社長と知り合いました。彼は鹿児島とは縁もゆかりもありませんが、これからの時代はスポーツで地域創生ができるのではないかと、鹿児島に来た男です。

試合を見に行くと、野球とサッカーはテレビで見ている画面がそのまま目の前で繰り広げられるという感じですが、バスケットはライブの臨場感が面白く、10分で「これは行ける」と思いました。

レブナイズはビジョンとして、「鹿児島レブナイズを介して、鹿児島を経済的にも元気にしていく」ということを掲げています。昨シーズンは、一番多い日で3860人が来てくれました。平均入場者数はB2を入れても5

番目にお客さんが多いチームです。企業版ふるさと納税を活用して、東京周辺の会社が鹿児島市に4000万円寄付をして、そのお金で鹿児島市が市民を無料招待しています。これにより、バスケットの魅力を知った人がリピーターになってくれています。

日本ハムの新庄監督の言葉を借りると「鹿児島レブナイズの存在意義は、そこの街に住む人たちの暮らしが少しでも彩られたり、単調な生活を少しでも豊かにすることにほかなりません」

こういう気持ちで鹿児島レブナイズを今後も運営していこうと思っています。



スマイル・ボックス

●**下村会長・濱上幹事**／本日のゲストは、株式会社鹿児島レブナイズ代表取締役社長 有川 久志様です。お忙しいところおいでいただきありがとうございます。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。また、先日の納涼家族会、司会の國料さんをはじめとする親睦委員会の皆様、ありがとうございました。

●**海江田 順三郎さん**／一昨日の納涼家族会は暑さを忘れ、楽しくすごさせて頂きました。帰りは濱上さんのタクシーに途中まで同乗させて頂き、助かりました。

●**丸元 貞夫さん**／本日の講師「有川社長」は、私の息子と「鴨池中」「鶴丸高」のクラスメイトでした。卓話楽しみにして居ります。

●**橋元 隆さん**／先日の納涼家族会は大変楽しませて頂きました。親睦委員会の方々ご苦勞様でした。クジで夫婦共々当た

りましたのでスマイルさせていただきます。

●**池島 泰光さん**／この度行なわれました納涼家族会にずうずうしくも4人の孫達を始め家族9人参加致しました。下村会長、濱上幹事、進行の國料さん宮里さんお務めご苦勞様でした。ジャンケン大会では高価なお品が沢山当りましたが私と家内と田實さんは「負け」でした。しかし孫が「僕の物をじいちゃんに上げる」と云ってブランド入りのハンケチを持って来ました。「感動をありがとう」よか～晩でした。

●**丸山 健太郎さん**／本日はゲスト卓話に鹿児島レブナイズの有川久志社長をお招きしました。前職からスポーツビジネスに深く関わられ、精通しておられます。よろしくお願ひいたします。

●**広報・IT委員会**／7月22日に開催されたラウンドテーブルのスマイルをします。参加者は、池脇、逆瀬川、下村、田實、田中、橋元、濱上、林、前迫、丸山、宮脇、吉田、福山、川路(計14名)

7月29日のスマイル 小計 24,472円 2024~2025年度 累計 90,472円

ロータリーソング：「4つのテスト」

職業宣言唱和：7

ゲスト紹介：卓話ゲスト＝株式会社鹿児島レブナイズ
代表取締役社長 有川 久志様

食事：「本日の演奏」

会長の時間：下村 哲也 会長

会務報告：濱上 友美 幹事

1) 本日の配布 ①週報

2) 第22回ロータリー全国囲碁大会)のご案内

日時：10月26日(土) 10:00～

会場：東京市ヶ谷の日本棋院本院

参加ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

3) ガバナーと新会員との懇談会について(7/23FAX 済み)

日時：8月26日(月) 12:00～12:30

(ガバナー公式訪問例会前)

会場：山形屋1号館7階山形屋食堂 開闢

入会3年未満の会員には、ご案内をFAXにてお送りしておりますので、出欠回答を8月16日(金)までにお願ひいたします。

4) 次週例会について

第2141回例会記録 7月29日(月)

8/5(月) 例会プログラム

会員卓話「新入会員自己紹介」折田 健市郎さん

「公共イメージ向上のための卓話」

広報雑誌IT委員長 川路理幸さん

定例理事会開催 例会終了後 社交室にて

出席報告：出席委員会

スマイルボックス：親睦委員会

卓話：ゲスト卓話 「次期シーズンの目標と展望」

株式会社鹿児島レブナイズ

代表取締役社長 有川 久志様

次回例会 令和6年8月19日(月)

ガバナー補佐訪問・

ガバナー公式訪問前のクラブ協議会

出席率	会員数	出席数	出席報告
第2141回例会	52名	35名	67.30%
前々回(7月8日)の補正	52名	40名	76.92%